

2018

延岡市長選

告示あと2日

立候補予定者 2氏座談会

詳報④

読谷山洋司さんの質問

— 知事と一緒に写っているポスターが多数貼られているが、このポスターについては「延岡市民に圧力をかけるものではないか」「知事の公権力を利用してはいけないか」「公平・公正であるべき県行政がゆがめられているのではないか」「延岡市民が自らのまちのあり方を決める権利を侵害しているのではないか」—などの指摘が多数ある。このような疑念を市民に抱かせ、市民を惑わせてしまうかもしれないのに、このポスターの作成を承諾したのはどういう考えによるのか。

永山英也さん ポスターは「延岡の未来をつくる会」が主催をして集会を行うという告知ポスター。私と知事が載っていることについては制度的に何ら問題はないと思う。

知事と私は長い間、一緒に仕事をしてきた。知事が副知事るときは口蹄疫と闘い、知事になっても口蹄疫からの復

興、成長に向けた取り組み、東京五輪に向けた取り組みとさまざま一緒にやってきた。政治家の知事が、政治家の誰かを推すということは当然ある話だ。今回の場合は、総務省出身の政治家としての知事が「永山さん頑張れ」と言っていたに過ぎない。それは感謝をしながら私は力強く前に進んでいきたい。

— あなたは首藤正治市長から事実上後継者とされておられ、実際に首藤市長が同行または同席する形であいつをしたり、集まり等で現職の市議等が「次期市長」と紹介し登壇しあいさつしたことであるが、それについて市民にどう説明するのか。

永山 首藤市長は私に「頑張れ」と言ってくれている。それを後継とか後継である以上、何も変わらないというふうには言えない。納得していただいていることは、納得していないし理解もしていない。首藤市長が信頼してくれたことは本当に感謝している。だが多くの市議の方が「延岡市をもっと変えてほしい」という期待を込めて応援してもらっていることは感謝している。もちろん市長になればさまざまな拮抗(きつこう)関係はあるが、延岡市を本当に前に進めるため応援してもら

課題に応じ変革必要

永山さん

永山英正さんの質問

つていふことはありがたい。ことに問題があると考ええる。水道料金値上げはまず、最終手段であるという認識に立つ必要がある。引き上げまでに本当に全力を尽くしたか、経営の効率化を図ったか。民間企業の経営者である私の視点から、改めて見直す。加えて水道の古い施設の更新などについては国の支援策がある。市は支援策を使っていない状態で値上げをした。本当に使う余地はないのか、使った上で引き上げは必要なのか検討し、結果を市民に明らかにしてからでなければ引き上げはストップだ。

読谷山洋司さん 駅前複合施設の管理委託については建物を着工する前に、完成した後維持・管理がいくらかかるのか、市民に公表してその上で着工すべきかを議論し、結果を出した上で着工するのが本来あるべき手順だと思つ。しかし維持・管理費が決まっていなまま建物が完成しようとしている。他県の類似施設を見ると年間1億円以上の管理費を払っている例が複数ある。なおさる案の段階で市民の意見を聞いた上でないと意思決定すべきではなかった。

また指定管理者を決める時に、企画内容だけでなくおむねいくらの委託を受けるかも審査すべき項目ではなかったか。主役は市民であるのに市民に情報公開されていない

水道料金値上げはまず、最終手段であるという認識に立つ必要がある。引き上げまでに本当に全力を尽くしたか、経営の効率化を図ったか。民間企業の経営者である私の視点から、改めて見直す。

加えて水道の古い施設の更新などについては国の支援策がある。市は支援策を使っていない状態で値上げをした。本当に使う余地はないのか、使った上で引き上げは必要なのか検討し、結果を市民に明らかにしてからでなければ引き上げはストップだ。

新しい電力会社の設立によつて電気料金を引き下げることが政策に掲げているが、電気の調達は具体的にどのようなにするのか。また、新電力会社もさまざまあるが、必ずしも従来の料金より安いという状況にはないようだ。料金の低廉化の方策は何か。

読谷山 料金引き下げは、私自身が岡山の新電力会社の仕事をしてくれている。そして10%ないしそれ以上の値下げを実現できている。その経験を生かし、延岡市民の生活の応援をさせていただく。卸電

料金を引き下げたい。ことに問題があると考ええる。水道料金値上げはまず、最終手段であるという認識に立つ必要がある。引き上げまでに本当に全力を尽くしたか、経営の効率化を図ったか。民間企業の経営者である私の視点から、改めて見直す。加えて水道の古い施設の更新などについては国の支援策がある。市は支援策を使っていない状態で値上げをした。本当に使う余地はないのか、使った上で引き上げは必要なのか検討し、結果を市民に明らかにしてからでなければ引き上げはストップだ。

徹底公開情報市民へ

読谷山さん

力市場から調達することにより、自ら発電施設を持たなくても安い電気を調達して提供することはできる。

補足質問の質問

永山 駅前複合施設についてプロセス、委託料未定の状況がおかしいのではないかと議論については理解をした。ただ、同施設は公共スペースは一定の委託料を払う、民間経営する部分は当然家賃を取り運営する。それを切り分けて考えるべきと思うが。

読谷山 かかるべきものはかかるとしても市民に概算値でも示す、それが先に行われるべきだ。内容がどんなに素晴らしいとしても、財政負担が示されていないければ最終的な判断はすべきではない。

永山 委託料として払うこと自体はおかしことはない。金額が示されていないのがおかしいと言われているのか。十分納得できれば制度的にはおかしくないということだ。

読谷山 そういうことだ。もう一つ、延岡の場合はカルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)が運営しているほかの図書館と大きく違うことだ。その情報を市民に提

供して意思決定をすべきだった。制度的にそうだが説明をしていない。市民で理解されている方が少ないのが現実だと思つ。

永山 水道料金について。料金が安いのはいいことだが耐震化、劣化も含め設備投資が必要な中での提案だと思つ。30、50年先を見据えた事業展開のため必要であれば精査し、値上げもあろうのか。

読谷山 その前段の作業が行われないうちに答えを出すべきではない。経営効率化が市民が理解する水準なのかという経営努力と説明。さらに大震災以降充実している国の制度を使った上でどうなのかという精査。総合的にやったのでなければ市民に提示することにはならない。再点検・再検証が終わらなければ、値上げという結論は出てこない。

＝おわり＝

おことわり 2候補予定者の質問は、事前に文章で受け取ったものを双方に伝え、座談会で答えてもらいました。回答と補足質問・再回答は10分間の中で行いました。